

## 【コース】 ヒトの病気1

### 【コースディレクター】

CD：岡田 浩一(腎臓内科)

### 【コースの概要】

ヒトの病気－1コースは、下記の9ユニットで構成される。

このコースからいよいよ臨床医学の基礎を学ぶことになる。3年次でのヒトの病気－1および4年次でのヒトの病気－2コースを十分に理解することが、5年次に行われる臨床実習の基盤となる。

＜臨床医学の基本＞ 1. 診療の基本

＜臓器別の病気＞ 2. 呼吸器 3. 循環器 4. 消化器 5. 血液 6. 腎・泌尿器 7. 生殖器 8. 神経

＜統合的な病気＞ 9. 内分泌・代謝

### 【目 標】

将来、医師となるために、そして5年次での臨床実習を円滑に行うために、診療に関する基本的な事項、および呼吸器、循環器、消化器、血液、腎・泌尿器、生殖器、神経、内分泌・代謝の各分野の疾患についての基本的な知識を修得する。

個々のユニットの一般的な目標および具体的な目標については、各ユニットの項を参照のこと。

### 【学習方法】

1学期には、診療の基本、呼吸器、循環器、腎・泌尿器、2-3学期には消化器、血液、生殖器、神経、内分泌・代謝の各ユニットについて、講義形式で学習する。

### 【評価方法】

7月、9月、1～2月に計3回のユニット別定期試験（筆記試験）を施行し、各ユニットの評価を行う。

### 【指定教科書】

- ◆ コース別指定教科書一覧を参照

**【コース】**

ヒトの病気1

**【コースディレクター】**

岡田 浩一（腎臓内科）

**【コンピテンス】**

2. 基盤となる医学知識と問題対応能力

**【マイルストーン】**

2-(1). 人体の正常構造と機能の知識を統合し臨床医学に応用することができる。

2-(2). 生体の細胞学的、生理学的、生化学的、分子生物学的メカニズムや個体の反応の知識を統合し臨床医学に応用することができる。

2-(4). 主要な疾患の病因、病態、診断、治療を概説できる。

**【評価方法】**

2-(1). 各ユニットの筆記試験（コースとして判定）

2-(2). 各ユニットの筆記試験（コースとして判定）

2-(4). 各ユニットの筆記試験（コースとして判定）

**【補習および再評価の方法】**

2-(1). 各ユニットの再試験

2-(2). 各ユニットの再試験

2-(4). 各ユニットの再試験